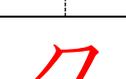
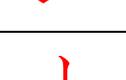


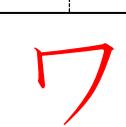
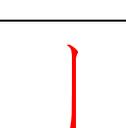
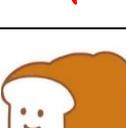
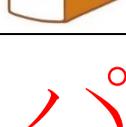


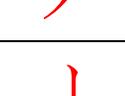
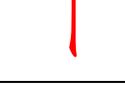
# ☆つぎのひらがなのことばを、かたかなで

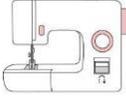
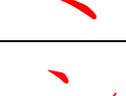
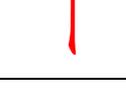
## かきましよう。

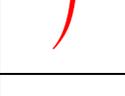
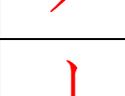
※のばす おんや、小さく かく かたかなに 気をつけて かきましよう。

(1)  と           

(3)  し        

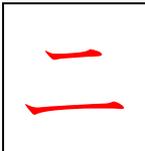
(5)  て          

(7)  み           

(9)          

☆つぎのひらがなをかん字でかきましょう。

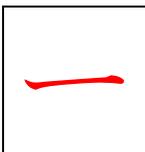
(1) に



こ



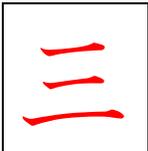
(2) 一



ぽん



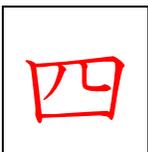
(3) さん



にん



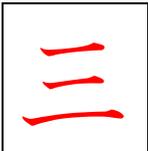
(4) よん



だい



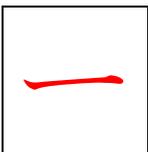
(5) さん



びき



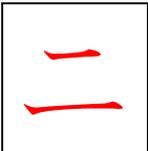
(6) いち



まい



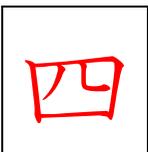
(7) に



わ



(8) よん



とう



(9) さん



さつ



(10) ご



ほん



※ものかぞえかたをおぼえましょう。

どうぶつはいぬやねこのようにちいさいものをかぞえるときはひきをつかいます。  
ライオンやぞうのようにおおきいものをかぞえるときはとうをつかいます。

☆つぎのひらがなのことばを、□にかん字で

かきましよう。

やじるしからかきはじめましよう。

※かきじゆんに気をつけて、かきましよう。

ただ

正

しい

じ

字

をか



やま

山

で

むし

虫

を見つ



(2)

すい

水

よう

び

日

は、えんそくだ。



(3)

あめ

雨

がふ

かわ

川

のみずがふ



(4)

うえ

上

と

した

下

をかた

(5)

つくえの



☆つぎのひらがなのことばを、□にかん字で

かきましよう。

やじるしからかきはじめましよう。

※かきじゆんに気をつけて、かきましよう。

ひ

火

に

みず

水

をかけてけす。



た

田

んぼで

ひと

人

が、はたらいている。



か

火

よう

び

日

に、たんけんにいった。



たけ

竹

やぶで、

あめ

雨

がやぶのをまった。



そら

空

に、

つき

月

が出た。



(5)

よるの

(4)

(3)

(2)

(1)

☆つぎのひらがなのことばを、□にかん字で

かきましよう。

やじるしからかきはじめましよう。

※かきじゆんに気をつけて、かきましよう。

くるま

車

に

こ

子

どもがのる。



(2)

おとうさんと

川

かわ

へいく。



(3)

あま

天

の

かわ

川

が、きれいに

み

見

えた。



(4)

あお

青

しんごうで、

き

気

をつけてわたる。



(5)

かいだんを

のぼ

上

る。



☆つぎのひらがなのことを、□にかん字で

かきましよう。

やじるしから かきはじめましよう。

※かきじゆんに気をつけて、かきましよう。

(1) 犬

いぬ

が、よこから

出

で

てきた。



(2) 竹

たけ

の

中

なか

から、かぐやひめがでてきた。



(3) 土

ど

よう日は、学校が

休

やす

みだ。



(4) 月

げつ

よう日に、

本

ほん

をよむ。



(5) 金

きん

よう日に、みんな

力

ちから

をあわせ、いもほりを



した。

☆つぎのひらがなのことばを、□にかん字で

かきましよう。

やじるしからかきはじめましよう。

※かきじゆんに気をつけて、かきましよう。

はや

早

くおきると

き

気

もちがよい。



ゆう

夕

がた、おかみさんは、

いと

糸

をつむいだ。



め

目

をさまし、

まち

町

へいく。

ひやく

百

えん

だまと

せん

千

えん

さつがある。



そら

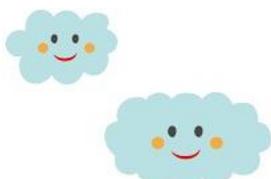
空

にかんだくもに

な

名

まえをつけた。



(5)

(4)

(3)

(2)

(1)

☆つぎのひらがなのことばを、□にかん字で

かきましよう。

やじるしからかきはじめましよう。

※かきじゆんに気をつけて、かきましよう。

あか

赤

ちゃんが

う

生

まれた。



みみ

耳

をすまして、しぜんの

おと

音

をきく。



むら

村

に

おう

王

さまがやってきた。



しろ

白

い

たま

玉

がひかる。

くち

口

だけ

くさ

草

をたべた。



(5)

しまうまがひと

(4)

(3)

(2)

(1)

☆つぎのひらがなのことばを、□にかん字で

かきましよう。

やじるしからかきはじめましよう。

※かきじゆんに気をつけて、かきましよう。

(1) 貝

がらを、はこに

入

れる。



(2) 右

みぎ

左

ひだり

を見て、どうろをわたる。



(3) 石

いし

足

あし

にあたった。



(4) 一

いち

年

ねん

生

せい

の

先

せん

生

せい

だ。



(5) 花

はな

がさいているかだんに、かんばんを

立

た

てた。

